

同時発表：国土技術政策総合研究所

令和3年8月6日
道路局道路交通管理課

自動運転の普及拡大に向けた道路との連携に関する研究の 共同研究者を公募します

令和2年11月、世界初の自動運転レベル3の型式指定がされ、令和3年3月より市場投入が実現されました。また、新車販売台数に占めるACC(Adaptive Cruise Control)搭載車両の割合は7割を超えるなど、先進安全技術の普及が進んでいます。

これらの機能がより多くの場面で発揮されることで、交通事故や渋滞の削減、ドライバーの負担軽減など、道路利用者の安全・安心が確保されることが期待されます。

このため、国土技術政策総合研究所は、自動運転の普及拡大に向け、自車位置特定に必要な区画線の要件案(管理目安など)や、車両センサでは収集が困難な道路前方の状況(トンネル出口など)の情報提供手法についての共同研究者を公募します。

1. 研究内容等

別添資料「共同研究」の公募要領のとおり

2. 募集期間

令和3年8月6日(金)から令和3年9月10日(金)まで

3. 提案様式、提出方法

詳細は下記 URL を参照ください。国土技術政策総合研究所ホームページ：
<http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kyoudou/index.html>

(道路の自動運転施策に関する問い合わせ先)

国土交通省道路局

道路交通管理課 高度道路交通システム推進室 堤、成島

TEL:03-5253-8111(内線 37453、37462) (課直通)TEL:03-5253-6464、FAX:03-5253-1617

(共同研究の手続きに関する問い合わせ先)

国土交通省国土技術政策総合研究所

企画部 企画課 尾崎、湯浅、大河内

TEL:029-864-2211(内線 3151、3153、3154) (課直通)TEL:029-864-2674、FAX:029-864-1527

(共同研究の研究内容に関する問い合わせ先)

国土交通省国土技術政策総合研究所

道路交通研究部 高度道路交通システム研究室 中川

TEL:029-864-2211(内線 3675) (課直通)TEL:029-864-7539、FAX:029-864-0178

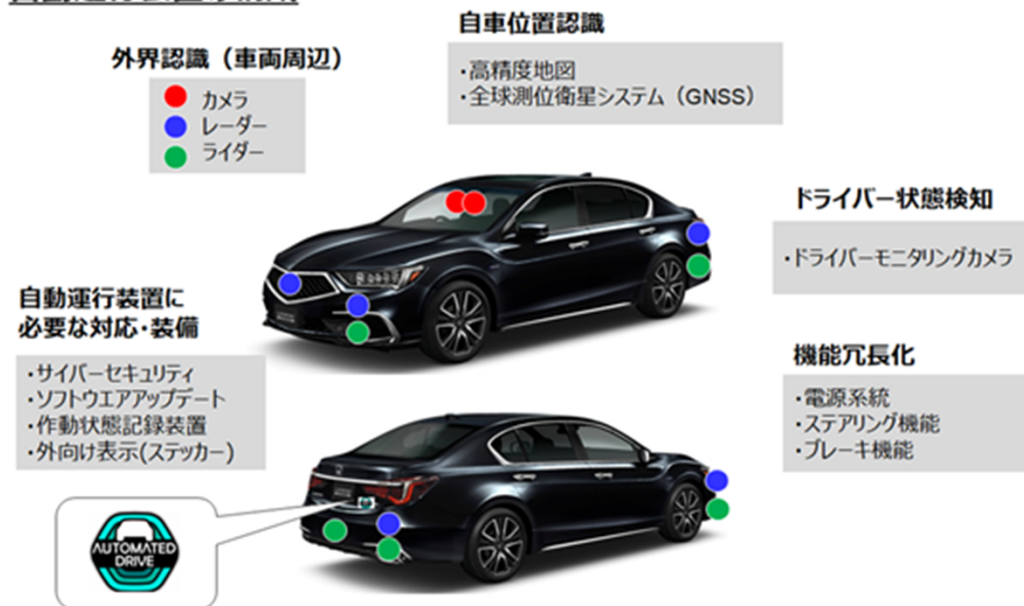
自動運転、高度な運転システムの開発・普及

- 世界初の自動運転レベル3の市場化や先進安全技術の普及が進む中、走行環境の整備等によるシステム作動エリアの拡大は、自動運転の普及拡大や道路交通の安全確保に直結

■世界初の自動運転車(レベル3)の型式指定

- 令和2年11月、本田技研工業株式会社から申請のあった車両(通称名:レジェンド)に対し、自動運行装置を備えた車両としては世界初の型式指定を実施。
- 令和3年3月に、同社より発売。

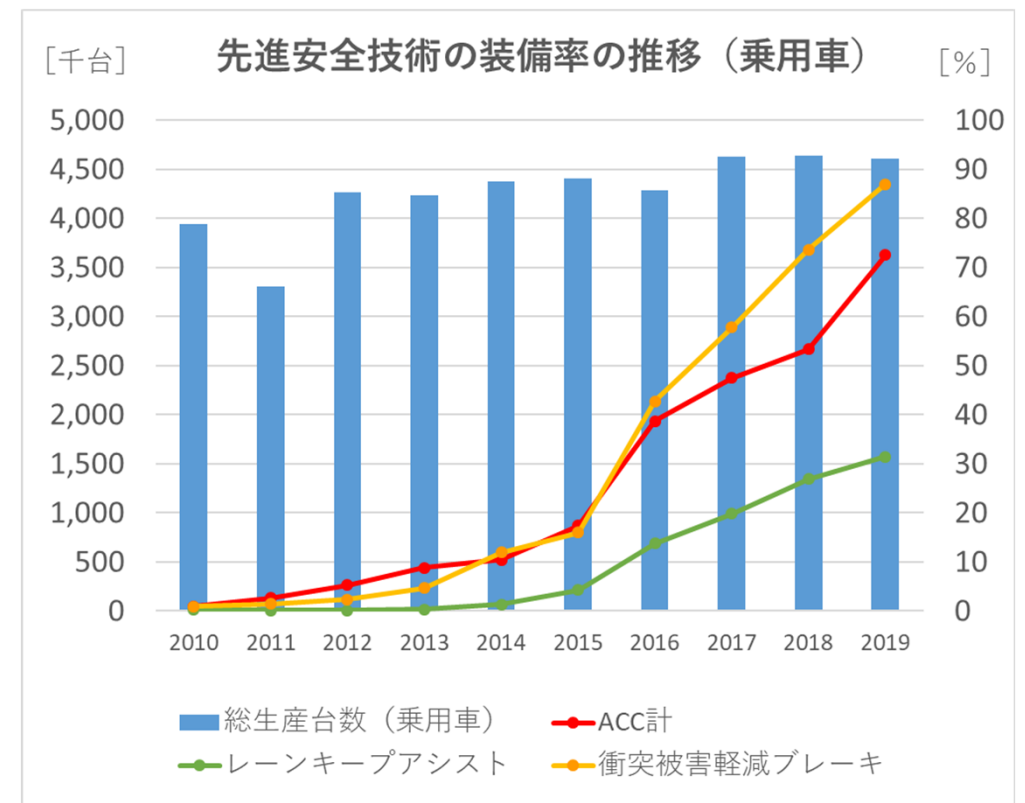
自動運行装置の構成



※本田技研工業(株)提供

■先進安全技術の装備率の推移

- 先進安全技術は、近年、装着率は大きく上昇。



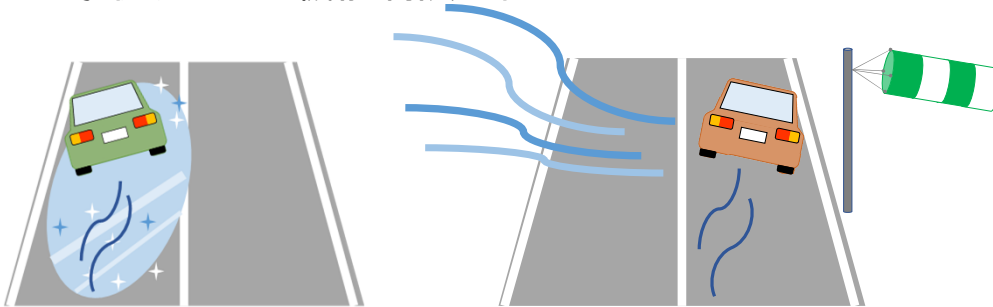
出典)「ASV技術普及状況調査」国土交通省

自動運転に対する道路からの支援

○ 自動運転の実現に向けた車両の開発・普及状況を踏まえ、道路からの支援について検討。

現在の自動運転技術の限界

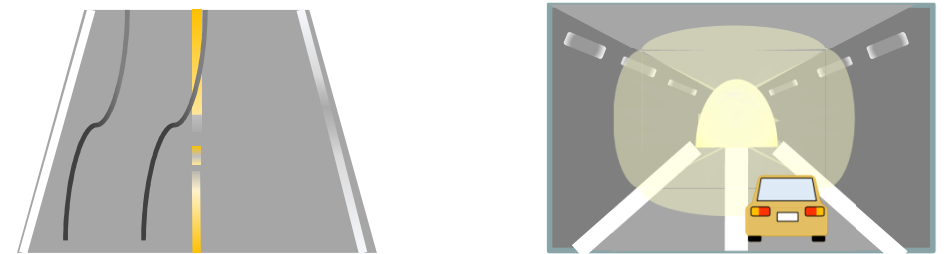
■ 気象状況による機能制限の例



路面凍結

強風

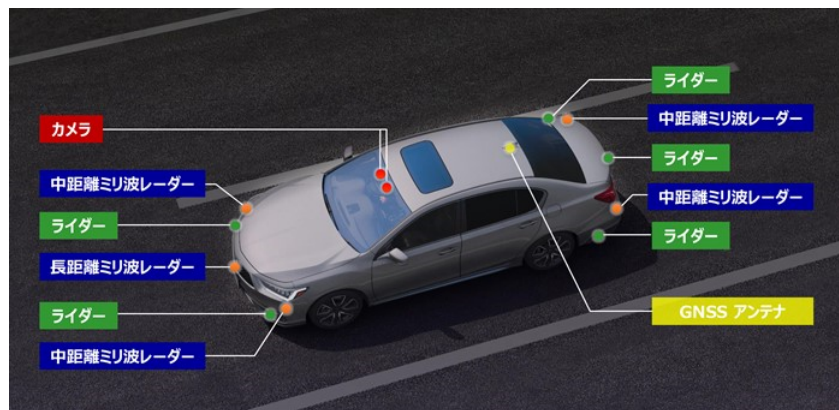
■ 道路状況による機能制限の例



区画線のかすれ、タイヤ痕

トンネル出口

自動運転車両の開発・普及による対応

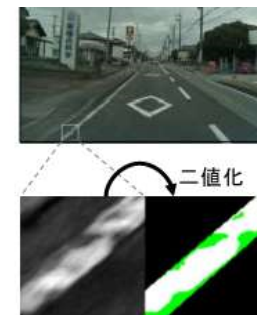


※本田技研工業(株)提供

道路からの支援

<維持管理>

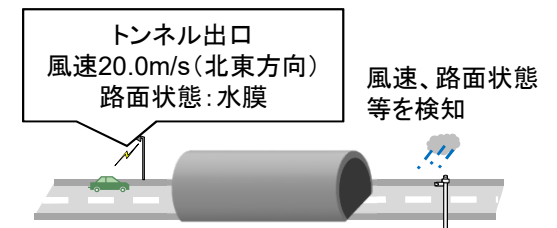
(例) 自動運転に認知可能な区画線管理



剥離状況を踏まえた適切な引き直し

<情報提供>

(例) トンネル出口付近の風速、路面情報



風速、路面状態
等を検知

相互連携

自動運転の適用範囲の拡大